

2008年5月・6月

## 人間歯科学研究会報

人間歯科学研究会

〒567-0883 茨木市大手町 7-26

FAX 072-626-6519

E-mail [yoshihara@gold.ocn.ne.jp](mailto:yoshihara@gold.ocn.ne.jp)

---

### 自然の恐怖

ミャンマーでは鳥インフルエンザとマラリアが発生し、防疫対策に悩んでいたところへ、最大級のサイクロンが幾千、幾万という人と動物を死に追いやり、まるで地獄絵のようだという。

中国では5歳児以下に手足口病が5月上旬までに15,000人に流行し、28人の死亡が確認された。これから温度が上がると、インフルエンザが急増し、溶連菌感染症や手足口病が伝染するというニュースが入った。その直後、四川省でM8の大地震が発生し、死者が32,000人を超えた。

地球温暖化が問題視されて久しいが、突然思いもかけない大惨事が発生することの予測は難しい。だからといって「そんなの関係ねえ～」と言っているのは命がいくつあっても足りない。

日本国内では、硫化水素で自らの命を絶つという事件が相次いで起こるという矛盾が生じている。命の尊厳の尺度はどこにあるのだろうか。

大量の農薬“メタミドホス”が加工食品に混入されているなどとはもってのほかである。

### 健康であるために

天災も病気も、検査の結果で予測と予防が第一である。検査なく無計画治療をするのは医療担当者の風上にも置けない。しかも集団検診で病名をつけ、治療勧告を下したり、観察などという方針を確定したりするのは、医療の低下どころか健康無視もはなはだしい。

1・2月号にも報告したが、今年の上半期だけでも歯科医院の廃院や閉院の届出が非常に多い。

医師不足や片寄りによる病院の閉鎖は2006年から急速に始まり、外科、眼科、産婦人科、小児科が次々と消えていった。かろうじて残っている所では医師がほぼ24時間勤務している状況だという。最も深刻な状況の長野県に大型サイクロンや大地震が来たらいったいどうなるのだろうか・・・。

歯科医師は多く、歯科医院はコンビニエンスストアよりも多くあるという。「犬も歩けば歯科医院にあたる」とさえ言われている。

むし歯検査や歯周病検査をして、予防や治療をしているだけでは生活できないという理由で廃院に追い込まれる医院も少なくないという。

4月から保険医療の見直しがあり、いくつもの届け出に振り回された歯科医も多いことだろう。

公式文書というのは、何と理解しにくいものだろう。しかも届け出期限が決められていて、それまでに提出しないと保険算定（加算）がされないという。ところが、期日が過ぎてから必要な資料やサンプルが FAX で届くという理解しがたい現象が続いている。挙句の果ては、書き直しに本所まで出頭しろというのである。歯科医療も厚生労働省、保険庁に振り回されて、患者無視の状態になると、一般医学と同じ環境になりかねない。歯科大学や歯科医師会の活躍が注目される。

## 「ポスカム」「リカルデント」「キシリトール」果たして軍配は？

### 「CAM CAM」はどうだ？

「フィンランドのムーミンは歯があるのかないのか？」と質問を受けることが増えた。何故かと聞くと「むし歯になるには歯があつてこそでしょ」と・・・。

「ポスカム」はカルシウムが効果的だと思うという意見が多く、本当はどうかと聞かれる。臨床成績は悪くないから、お腹をこわさないなら良いとのこと。

「リカルデント」はあまり食べたことが無いが、積極的に口の中の環境を変えろという説明は早くから受けていた。

つまり脱灰することを抑制し、脱灰しないようにするという。何だか矛盾しているところがあるようにも思えるが、そのもとにはリン酸カルシウム製剤や、水酸化カルシウム製剤だから悪くは無いのでは・・・と。

「キシリトール」で砂糖が足りなくなったら脳によくないのでは？とか糖分が足りないとドーパミンが出ないという話も聞くが？などなど質問が山積みだ。

「CAM CAM」は、化学製剤は何も入っていない。ただ“かむ”だけで生理唾液が自分の身体から発生し、抗菌力を高め、PHを中性化して口腔内環境を改善する。続けて噛むことによって、唾液の成分も変わり良い方向に向かう。時々、天然ミネラルウォーターで口をゆすいだり飲み込むと、むし歯や歯周病にならないだけでなく体質改善にもなる。大脳への刺激性は強くドーパミンが多く出て、薬（化学製剤）不要の健康で明るい日常がおくれる。

結果、軍配は「CAM CAM」にあり！！